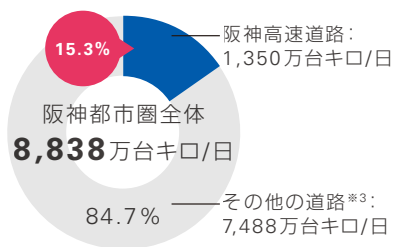


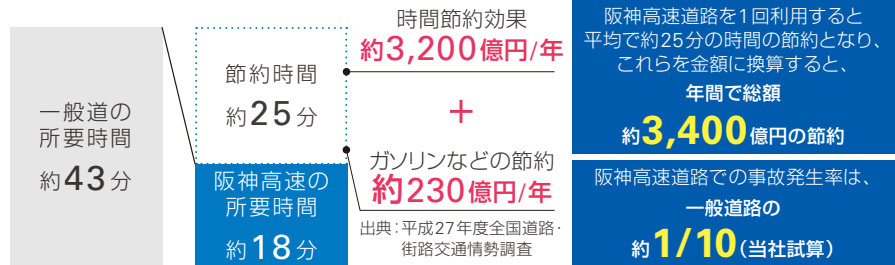
# 阪神高速道路は関西の大動脈 (阪神高速のネットワーク)

阪神高速道路のネットワークは、総延長258.1kmに及び、関西の大動脈として、1日平均70万台のお客さまにご利用いただいております。阪神都市圏<sup>\*1</sup>全体の交通量の15.3%を占めています。「時間の節約」、「安全で快適な走行」、「一般道路の渋滞緩和」など、さまざまなメリットをご提供することで、関西の経済活動や皆さまの暮らしをサポートしています。

## 交通量 (走行台キロ<sup>\*2</sup>)



## 阪神高速道路のストック効果



出典: 平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査  
<sup>\*1</sup> 阪神都市圏とは、大阪府・神戸市の全域と阪神間をあわせた地域をいう。 <sup>\*2</sup> 走行台キロとは、1台の車が1kmを走行する単位をいう。  
<sup>\*3</sup> 道路とは、国道・府道・県道・指定市の主要道路をいう。

## 阪神高速が建設・整備・運営する路線図



# 関西の発展に貢献してきた阪神高速道路

阪神高速道路は、高度経済成長のさなかの1964年、土佐堀～湊町間で初めての区間が開通して以降、交通渋滞の解消、物流の効率化といったさまざまな課題の解決を目指しながら整備が進められました。阪神高速グループは、この60年、高速道路サービスを提供し続けることで皆さまの暮らしと経済を支え、関西の成長と発展に貢献してきました。

## 阪神高速道路の歩み

 <p>建設中の1号環状線</p>	<p>1960</p> <p>1964年 営業延長 <b>2.3km</b></p>	<p>放射路線の整備 都市環状線と</p>	<p>1962(昭和37)年 阪神高速道路公団が設立 1964(昭和39)年 1号環状線土佐堀～湊町間2.3kmが開通 (阪神高速道路初の開通) 1965(昭和40)年 梅田～道頓堀間4.2kmが開通 1966(昭和41)年 3号神戸線京橋～柳原間3.3kmが開通 1969(昭和44)年 交通管制システムを導入</p>
 <p>開通後の1号環状線</p>	<p>1970</p> <p>1970年 営業延長 <b>74.1km</b></p>	<p>放射路線の整備や 大阪と神戸の直結 都市環状線と</p>	<p>1970(昭和45)年 15号堺線湊町～堺間11.5kmが開通するなど、日本万国博覧会開催に向けて各路線が順次開通し、総延長74.1kmの高速道路網が完成</p>
 <p>大阪・神戸間直結</p>	<p>1980</p> <p>1981年 営業延長 <b>117.6km</b></p>	<p>湾岸線などの 建設による機能的 ネットワークの整備</p>	<p>1980(昭和55)年 14号松原線山王～松原JCT間11.2kmが開通 1981(昭和56)年 3号神戸線西本町～西宮IC間14.3kmが開通し、大阪・神戸間を直結</p>
 <p>湾岸線の開通 (ひんくうJCT付近)</p>	<p>1990</p> <p>1994年 営業延長 <b>200.0km</b></p>	<p>兵庫地区の震災復旧と 格子状ネットワークの整備</p>	<p>1992(平成4)年 立体道路制度を活用しビルを貫通する形で建設された梅田出口が開通 1994(平成6)年 関西国際空港と神戸を結ぶ湾岸線(2区間31.1km)が開通 1995(平成7)年 阪神・淡路大震災により3号神戸線などに甚大な被害が発生 1996(平成8)年 3号神戸線武庫川～深江間9.3kmの工事が完了し、全線が復旧開通</p>
 <p>阪神・淡路大震災の被害</p>	<p>2000</p> <p>2003年 営業延長 <b>233.8km</b></p>	<p>格子状ネットワークの整備</p>	<p>2001(平成13)年 ETCサービスを開始 2003(平成15)年 31号神戸山手線神戸長田～白川JCT間7.3kmが開通し、7号北神戸線とあわせて神戸地区のネットワークが充実 2005(平成17)年 阪神高速道路株式会社が設立 2008(平成20)年 8号京都線上鳥羽～第二京阪道路接続部間5.5kmが開通</p>
 <p>西船場JCTの開通</p>	<p>2010～</p> <p>2021年 営業延長 <b>258.1km</b></p>	<p>ミッシングリンクの 解消に向けた整備</p>	<p>2012(平成24)年 距離料金を導入、新神戸トンネルを神戸市道路公社から移管 2013(平成25)年 2号淀川左岸線島屋～海老江JCT間4.3kmが開通 2017(平成29)年 6号大和川線三宝JCT～鉄砲間1.4kmが開通 新たな料金制度を導入 2019(平成31)年 8号京都線を京都市と西日本高速道路株式会社へ移管 2020(令和2)年 西船場JCT信濃橋渡り線が開通 6号大和川線鉄砲～三宅西間7.7kmが開通</p>
 <p>6号大和川線の開通</p>			<p>(注)ミッシングリンク: その区間が未整備となっているために道路のネットワークが有効に機能しない計画路線など。 JCT: ジャンクション IC: インターチェンジ</p>

# 阪神高速グループの事業活動

## 高速道路事業

### 高速道路の建設

新たな高速道路の建設などを行っています。



### 高速道路の維持・修繕など

高速道路の損傷などの点検と補修や老朽化した高速道路のリニューアルを行っています。



### 高速道路の管理

高速道路でのパトロール、交通規制、重量違反車両の取り締まりなどを行っています。



### パーキングエリアの運営

高速道路でお客さまに休憩していただけるパーキングエリアを運営しています。



### 高速道路の料金の収受

料金所で高速道路の料金をいただいて、高速道路の維持・修繕や管理などに生かしています。





## 高速道路関連事業

お客さまや社会のニーズに応えるため、多彩な事業を展開しています。

### 道路資源活用事業



道路マネジメント・技術外販事業  
(橋梁の点検)



用地取得支援事業  
(用地研修)



国際事業  
(海外の研修生受け入れ)



休憩所事業  
(レストラン・売店・自動販売機)

### 一般事業



駐車場事業  
(「阪高ファインパーク」の運営)



不動産事業  
(賃貸住宅)



産直事業  
(ナナ・ファーム須磨)



リースレンタル事業  
(太陽光発電システム)

## 阪神高速グループの概要 (2023年3月31日現在)



### 阪神高速技術(株)

#### 保全点検・維持修繕

阪神高速道路の点検から補修までを迅速に行い、現場から得られるノウハウを技術開発や品質管理に活用することで、構造物を良好なコンディションで長持ちさせます。

#### 内外構造(株)

道路構造物の保全点検

#### (株)情報技術

料金収受設備の保全点検・維持修繕  
システム開発運用管理

#### (株)テクノ阪神

機械設備の保全点検・維持修繕

#### (株)ハイウェイ管制

電気通信設備の保全点検・維持修繕

#### 阪神施設調査(株)

建物の保全点検・維持修繕



### 阪神高速技研(株)

#### 設計・積算・システム管理

阪神高速道路の技術ノウハウを継続的に蓄積することで、調査設計・積算・情報管理など、各技術分野における阪神高速道路(株)の業務をバックアップします。

#### (株)阪神eテック

電気通信設備の設計

阪申土木技術諮詢(上海)有限公司  
中国における技術コンサルタント

#### 阪高プロジェクトサポート(株)

起業支援コンサルティング



### 阪神高速パトロール(株)

#### 交通管理

阪神高速道路上の交通パトロールを行い、事故・故障でお困りのドライバーの安全確保、落下物処理など24時間体制で快適なドライブをサポートします。

### 阪神高速トール大阪(株) 阪神高速トール神戸(株)

#### 料金収受

阪神高速道路の玄関である料金所において、迅速・正確・丁寧な対応をモットーに、お客さまに気持ちよく阪神高速道路をご利用いただけるように料金収受業務を行います。



### 阪神高速サービス(株)

#### 休憩施設および駐車場施設運営など

阪神高速道路の高架下駐車場、パーキングエリアの管理運営、不動産の賃貸、スルーウェイカード事業、産直市場「ナナ・ファーム須磨」の運営など、広い分野でお客さまや社会のニーズに応えるサービスを提供し、グループの企業価値の最大化に貢献しています。

